

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
4 月 上田城③ 西櫓 新井 典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>

ご承知のように、すべてのロータリークラブが『標準ロータリー・クラブ定款』に従って組織されています。クラブの組織と運営の基本を定めたものです。この定款の枠内でクラブの独自の組織と運営についてはクラブ細則で決められます。



ロータリーの規定審議会のみが標準ロータリークラブ定款を改正できます。RI 規定審議会は3年ごとに開催されます。標準クラブ定款が改正されると、規定審議会直後の7月1日に、各クラブはその改正を自動的に採択することになります。

2016年に規定審議会が開かれ標準クラブ定款が改正されましたが、高山西クラブの定款は若干の改正漏れがありましたので今回標準定款に沿って改正したいと思います。5月の理事会に諮り、その後のクラブ総会にて改正を決議したいと思っています。事前に改正の内容説明をしたいと思っています。

今日は大きな改正点である第7条及び8条について、お手元の資料に基づきご説明しようと思います。あとは字句の訂正等細かい改正なので、一括して理事会、総会に提案したいと思っています。

規定審議会で決議された標準定款改正の特徴はクラブ運営の柔軟化です。とりわけ例会の柔軟化です。第7条は例会と出席に関する例外規定として、例外的な扱いをクラブ細則で決めることが出来る、という内容です。また第8条は国民の祝日を含む週の例会を取りやめてもいいという内容です。

ご検討の上、忌憚ないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

<幹事報告>

◎ガバナー、地区青少年奉仕部門委員長、地区インターアクト部門委員長より

- 韓国第 3600 地区年次大会交換交流派遣学生募集案内
期 間 7 月 26 日(木)~7 月 30 日(火)の 5 日間の予定
場 所 韓国第 3600 地区京畿道地域(ソウル近郊)
募集人員 25 名(各学校 2 名までの応募を認めます)
負担金 60,000 円 申込締切 5 月 18 日(金)必着
選考日 5 月 27 日(日)13:15~ ホテルグランヴェール岐阜

◎津北ロータリークラブより

- 第 41 回インターアクト年次大会 開催のご案内
日時 8 月 4 日(土) 12:30 点鐘 5 日(日) 11:50 閉会
会場 高田中高等学校

◎濃飛グループ次期ガバナー補佐より

- 濃飛グループ次期会長・幹事懇談会開催のご案内
日 時 5 月 26 日(土) 13:45~
会 場 角正

◎はぐるま会会長より

- 第 189 回はぐるま会開催のご案内
日 時 6 月 10 日(日) 12:29 スタート
場 所 飛騨高山カントリークラブ
表彰式 洲さき 18:45
会 費 8,000 円 締切 5 月 31 日(木)

◎高山・デンバー友好協会より

- 平成 30 年度通常総会の開催について(ご案内)
日時 5 月 7 日(月) 午後 7:00~
場所 高山市役所地下 1 階大会議室

◎飛騨高山国際協会より

- 平成 30 年度飛騨高山国際協会通常総会の開催について(ご案内)
日時 5 月 7 日(月) 16:00~17:00
場所 高山市役所 3 階行政委員会室
議題
● 平成 29 年度事業報告及び収支決算報告について
● 平成 30 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

◎高山市青少年育成市民会議より

- 平成 30 年度高山市青少年育成市民会議総会の開催について(ご案内)
日時 5 月 30 日(水) 19:30~21:00 頃
場 所 高山市役所地下市民ホール

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	35 名	4 名	39 名	41 名	95.12%
本日	34 名	—	34 名	41 名	82.93%

<本日のプログラム>

地区研修協議会報告

大前 克秀

2018 年 4 月 14 日(土) 13:00 より長良川国際会議場にて行われ、新会員として出席させて頂きました。

開会セッション、第 1 セッション、第 2 セッションとして分科会が開かれ新会員部門にできました。

「ロータリーって何?」

1、ロータリアン以外の人が見るロータリーのイメージ

- ① 飲み会を中心とした遊び会
- ② エセボランティア団体
お金持ちの団体で、おねだりをすればなんでも寄付してくれる団体



ロータリー：変化をもたらす

例会報告

1、ロータリーとは

社会生活における成功と幸福は他人に対する思いやりと他人を助けることにあるとして、各自の職業を通じての「奉仕の理想」を追求している。

- ① クラブ奉仕
広く知合いを求めて奉仕の機械を多く持つ
- ② 職業奉仕
各自の職業に誇りをもってその道徳的規準を高める
- ③ 社会奉仕
地域社会において公私の別なく奉仕の実行する
- ④ 国際奉仕
他国の人々の理解を深め、友情を国際的にも広める
- ⑤ 青少年奉仕
若者の指導力の養成

さらに、その為の自分の行動「四つのテスト」

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か（公正）
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

これは、人のため世のために奉仕することによって得る利益と楽しさを表したものです。

ロータリーは、単に奉仕団体でもなく、親睦団体でもなく、寄付団体でもない。

2、ロータリーにおけるは奉仕と親睦

- ① ロータリーの親睦とは
Fellowship 「親睦」と訳したのは誤り
Fellowship の本来の意味は「仲間」「友情」「友愛」
週1回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、友情を深め、自己啓発を計り奉仕の心を育む。この例会における活動を親睦であると言っています。
世界のロータリアンが仲間です。

ロータリーが定義する親睦

「ロータリークラブが、クラブとして存続していく上で欠かすことのできない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのです。」

- ② ロータリーの奉仕とは
五大奉仕とその理念
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。特に職業奉仕は事業の道徳的水準を高め品位ある業務は尊重されることを認識し、奉仕の理念を実践することを目的とする。
「利己利他」という言葉があるが利他=奉仕と考えると解りやすい。人の為に行動し、人に喜んでもらえるにはどうすればよいか考える。

職業奉仕の定義

「自分の幸せは、自分の周りにいる人々の幸せと、決して無関係ではない。良質の職人とは、自己改善を重ねて自軍の職場を健全に守ると共に、取引先・下請け業者・従業員・顧客など、自分の事業と関係を持つすべての人に幸せをもたらすことである。そして、その心を持って事業を営めば、必ず最高の利益が得られることを自分の職場で実証することによって、奉仕の精神の必要性を地域全体の職業人に伝えていって、自分が属する業界全体の倫理基準を高める。」

3、例会への出席

我々は、親睦団体でもない、奉仕団体でもない、寄付団体でもない、集団で奉仕の理念を学ぶ仲間である。その場が、例会です。ロータリーは例会重視。

ロータリー運動の実体を、見事に表した言葉「入りて学び、出でて奉仕せよ」

世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人

が、1週1回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が生まれてきます。この例会における1連の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。

まずは、週1回の例会には必ず出られるように頑張ります。そうして、奉仕の心学んで、どうやったら人に喜んでもらえるようになるか考えていきたいと思います。

追記：地区研修委員の話の中で、今年度5名の新会員に入ってもらったのですが、その入るきっかけになったのが「飲み会は、年3回か4回で、ゴルフはやりません。」だったそうです。それと、今回の研修のような話をしっかりしないと入会について解ってもらえないと思います。

杉山 和宏

4月14日、岐阜で行われた地区研修協議会に出席させて頂きました。そこで青少年奉仕部門の分科会に参加しましたが、次年度インターアクト委員長を拝命しておりますので、分科会で学んできたことを踏まえて、次年度の委員会活動についてお話ししたいと思います。



現在、インターアクト副委員長を務めておりますが、田中委員長にお任せっぱなしだったことで、「インターアクト」の活動内容や歴史も理解しないままだったことを、まず反省しました。インターアクトはインターナショナル（国際）を意味する「インタ」とアクション（行動）を意味する「アクト」に由来しており、高校生の年代の青少年に奉仕と世界的友好の中で活動する機会を与えることで、青少年の成長を助けることが目標です。

2630地区では韓国派遣が柱となっておりますが、昨今の不安定な国際情勢もあり当クラブ、また飛騨地区からの派遣は実施されていません。また、地区内では36校、岐阜県内では20校にインターアクトクラブがある中で、奉仕活動は多いものの、国際交流事業が少ないという現状でした。そこで地区インターアクトクラブ委員会としては語学や他国の文化に触れる機会を増やすことを推進しています。

このような状況の中、外国人観光客が多く訪れる国際観光都市「飛騨高山」にインターアクトクラブがあるということを活かす時だと思っています。先生方、そして主人公である生徒たちと検討、準備を行い、高山らしい楽しく有意義な活動を実施できればと考えています。また、インターアクト世代の上となる18~30歳の大学生、社会人を対象とした「ローターアクト」という活動も行われていますが、インターアクト、ローターアクトの活動を経て将来ロータリーに参加するといった次世代づくりの流れがあり、そのスタートでもあるインターアクトの魅力をより向上させていきたいと思っています。

今回、地区研修協議会に参加させていただき、次年度委員長の役割を学ぶことができました。初委員長の責務をしっかりと全うしたいと思っておりますので、引き続きのご指導ご支援をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

ロータリー：変化をもたらす

例会報告

田中 武

◎国際ロータリー会長バリー・ラシン
(イーストナッソーRC) パナマ

2018-19 年度テーマ『インスピレーションになろう “Be The Inspiration”』日本語では、ひらめき、靈感みたい 英語では鼓舞する、心に火をつける、意欲を引き出す人みたい

友情だけで無く、人助けのために行動する方法を求めてロータリーにやって来るようになりました。ポールハリスが述べたように「ロータリーは、世界へ平和の縮図であり、国々が従うべきモデル」です。私にとって、ロータリーは、単なる「モデル」ではなく、インスピレーションです。ロータリーは、可能性を指し示し、そこに到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための道を拓いてくれるのです。

◎ 木村静之ガバナーは『理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動』をテーマに掲げられました。理念をかかげ…職業奉仕という幹の中にある「奉仕の理念」をお互いにしっかりと掲げる。意欲を奮起し…皆さんがロータリーに入会してからの感動体験を、お互いに話しましょう。共に行動…部のメンバーだけの活動ではなく、多くの会員が参加しておこなうによりさらに大きな良い効果が得られます。

◎ 2018-19 年度 地区重点目標

1. 「奉仕の理念」の浸透と例会の充実、
2. 会員基盤の強化、意欲の喚起、
3. 奉仕活動の充実、
4. 公共イメージと認知度の向上、
5. ロータリー賞、RI 会長特別賞に挑戦しよう

◎ 2018-19 年度 ロータリークラブ対象のロータリー賞

- ※クラブのサポートと強化
- ※人道的奉仕の重点化と増加
- ※公共イメージと認知度の向上

◎ ロータリー財団部門分科会 … 参加者：次期地区グローバル補助金担当委員 大村貴之 ロータリー財団委員長 田中 武 国際ロータリーの使命、ロータリー財団の使命等色々ありました。ロータリー財団への理解、と言う事で、ロータリー財団研修セミナーの開催が、第1回 7月21日(土) 岐阜グランドホテル(門前会長・田中財団委員長) 大村貴之補助金担当地区委員、第2回 10月20日(土) ホテルグリーンパーク津(遠藤会長エレクト・田中財団委員長)

その他 ロータリー財団の補助金(I地区補助金)(IIグローバル補助金)等ポリオ・プラス(プラス=小児麻痺)ポリオ撲滅まで残り1%まできているので…。

2018-2019年 次年度委員会活動計画

(1) ポリオ撲滅への理解と協力①RI の交際協議会においてポリオ撲滅を優先項目とする協議について②何故ほとんど撲滅状態にあるポリオに資金を投入する理由(2)ポリオ募金への協力…ポスター、ベスト募金箱の貸し出し(3)ポリオニュースの発信(各クラブ募金活動、RI 日本事務局財団室ニュース)(4)2630地区10月24日世界ポリオデーへの取組(5)募金額の集計…地区事務局への募金活動報告のお願い



<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

地区研修協議会に参加された皆様、お疲れさまでした。後ほど研修された報告をお願いします。またクラブ奉仕委員会が4月18日に開催されました。貴重な意見をいただきありがとうございます。

●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

先週の地区研修協議会にはお忙しい中ご出席いただいた方々ありがとうございました。今日はその報告を大前さん、杉山さん、田中武さんのお三方にさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

●伊藤 松寿さん、内田 幸洋さん、向井 公則さん、黒木 正人さん、杉山 和宏さん、松川 英明さん

4月14日、岐阜市の長良川国際会議場で行われた地区研修協議会にご参加の皆様、お疲れさまでした。本日報告よろしくをお願いします。

●田近 毅さん

昨日の福祉の会で、落語家の柳家さん喬さんとNOS Sの講座に西川右近氏をお迎えしました。会員の奥様方にNOS Sに参加していただき大変好評でした。また夜の落語会でも、会員の方々にお手伝いいただき重ねて御礼申し上げます。

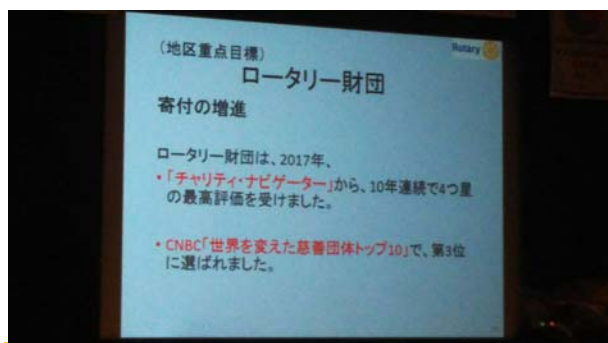
●大前 克秀さん

全国古民家再生協会の月刊誌「ジャパトラ」を配布させていただきました。一読いただければ幸いです。

●伊藤 松寿さん、内田 幸洋さん、田中 武さん、下屋 勝比古さん
春の高山祭にノエミが参加しました。屋台引きをさせていただきました。新聞にも掲載され、良い思い出になったようです。

●田中 晶洋さん

17日18日の母の葬儀の際はご多用の中、また通夜の天候が悪く駐車場が遠いなど不便な中ご参列いただき、また過分なるご厚志を賜りありがとうございました。バタバタして直接御礼をお伝え出来なかった方もいらっしゃると思いますが、お参りいただいた皆さんのお顔を拝見するだけで感謝の気持ちで熱いものがこみ上げてきました。心よりお礼申し上げます。



ロータリー：変化をもたらす